

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	産業観光部 農政課
記入団体名	仙波の田んぼ緑肥の会

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	「仙波の田んぼで季節を感じ、食を味わう」農業振興事業		
協働事業の概要	<p>「仙波の田んぼ緑肥の会」は『農家と消費者との新しい関係構築』を書く動方針としています。仙波の農家さんのモチベーションアップ、仙波地域の田んぼを中心とした地域交流の活性化を目的とした事業です。</p> <p>「小さくても密度の濃いコミュニティ形成」を目的に田んぼイベントや農業体験を開催、会報を発行し、米農家に興味を持つ農家ファン(準会員)獲得・農家を応援する農家サポータ(正会員)獲得を目指します。</p>		
協働事業の決算額	437,024円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	200,000円
事業の実施期間	令和7年4月3日～令和8年2月28日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	⑤

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

継続事業として3年目を迎えますが、年々目的が明確化され、目標が達成されていると感じています。

農家としては、イベント等を通して消費者とコミュニケーションを取ることができる貴重な機会が創出されています。

地域としては、マイクロコミュニティならではの安心であたたかい関係性を築くことができています。

農業振興と地域交流がつながる良い取り組みであるため、当課としても引き続きPRを実施するとともに、新たな課題も発見できましたので、協力していきたいと思えます。

【市民活動団体等】

当団体が目指す最終ゴールは、『仙波のお米を食べてくれるサポーター(熱烈応援団)を獲得する』ことです。このゴールを目指すために、さまざまなイベントを行ってきました。

玄米のニーズがあることも分かり、30kgの玄米を購入する応援団も徐々に誕生しています。

また、農政課様のアドバイスや「おいしい川越でのPR」により、仙波地区での認知度も高まりました。

当初考えていたスタートとしては、満足のいくスタートを切れたと考えています。

今後は、最先端スマート農業の導入に向けたテストなどを行い、若者へ訴求力のあるPRの取り組みも開始したいと考えています。簡単ではありませんが、行政の協力をいただきながら、少しずつ確実な一歩を踏み出せたらと思えます。

また、協働事業に取り組む他の団体とのコラボ企画も実施予定となりました。出会いの機会をいただいた地域づくり推進課様に感謝申し上げます。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	4	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	5	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・継続的に実施されてきた点は評価したいです。一方で、費用対効果の点では迫力に欠けているように思いました。

・協働事業として理想的な展開が図られたと感じました。例えば、PRのためにInstagramに事業内容を掲載したり、イベントの出店案内をしたりと、密度のある双方向でのやり取りをし、その結果として目的を達成しています。

・真面目に取り組んでいる結果として新たな課題が発見されたことから、協働事業としての深化が期待され、発展につながる良い事例であると考えます。

・応援団としての消費者という再定義を行ったのは現代社会ならではの点だと思ひ、興味深く拝聴しました。生産者と消費者をまとめて一つのコミュニティと位置づけた点もユニークだと思ひます。おそらく事業としては十分に立ち立っているものになっていると思ひますので、引き続きの活躍を期待しています。

【事業に関するコメント】

- ・仙波の農家は田んぼを地域交流の場として活用し、イベントや農業体験が米農家の応援につながります。畑で食べるおにぎりは格別の味で、会話も弾みますね。そして、より仙波の米が身近に感じられると思います。
- ・イベントや農業体験はこれからも続けていただきたいです。
- ・農業振興と地域交流がつながる、大変良い企画だったと思います。仙波のお米を食べるPRなどは、これから先、大いに期待できると思います。また、グリーンツーリズムとの関係性も深まればと思います。
- ・イベントも盛り上がりを見せています。地元小学校への働きかけを望みます。また、米の販売方法についてももっと考えてもらいたいと思います。
- ・行政、団体ともに高評価であり、お互いの意見が噛み合っって良い協働事業であるとわかります。今後も継続を期待します。
- ・田んぼプレーパークも良い取り組みだと思います。
- ・仙波と言っても、実施している場所が分かりませんので、もっと宣伝しても良いのではないかと思います。
- ・農家とつながりたい市民も多くいると思いますので、モデル事業として農政課は他地域へ広めてほしいです。
- ・玄米のニーズを拾うことは農家や行政だけでは難しいと思いますので、協働のモデルとなると思います。
- ・3年間の成果が出てきていると感じます。
- ・スマート農業の導入など、農家だけではできないことにトライしています。
- ・サポーター8家族は素晴らしい成果です。来年度も形を考えて、農政課には大切にこの団体とコラボしてほしいです。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	こども未来部 こども育成課
記入団体名	川越にプレーパークをつくろうの会

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	川越にプレーパークをつくろう事業		
協働事業の概要	<p>「特定非営利活動法人たねの会」が提供する講座を10月から12月にかけて川越市内で全4回開催し、川越市民がプレーリーダーや運営スタッフとして活動していくためのノウハウを学んだ。今年度は昨年受講者をサポートメンバーに加え、新規層に向けてすべて土曜日開催とした。同時に、欠席時のフォローアップのため録画補講の環境整備、託児環境整備をしたことで、より幅広い層にアプローチできた。</p> <p>第1回 10月11日 こどもにとっての遊びの大切さ 冒険遊び場(プレーパーク)とは 第2回 11月1日 プレーパークの環境づくり 危険管理 第3回 11月8日 危機管理と応急手当て実習 第4回 11月22日 プレーパークをやってみよう!(一般来場者数:62人) 受講者数:11人(内、サポーター会員登録者数:7人)</p>		
協働事業の決算額	157,105円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	78,000円
事業の実施期間	令和7年5月~12月 準備期間含む(講座実施日:10/11~11/22)		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	⑦

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	4	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	3	3.5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	3	3.5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	28.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

参加者の増加を狙って今年度は土曜日の開催としましたが、受講者数が思ったよりも伸びなかったのは残念でした。しかし、受講者のプレーパークへの思いを感じることができました。今回の参加者がどれくらい「プレーパークをつくろうの会」に参画してくれるかは分かりませんが、運営に多くの人携わり、会としての体力をつけてもらいたいと思っています。

昨年も書いたように、団体に対しては将来的に主体となって動いてもらいたいと所管課として考えていますので、さらなる研鑽を重ねていってほしいです。

【市民活動団体等】

今年度の受講者は、若者から子ども支援関係者、現役子育て世代、高齢者と多様でした。講座を通して、多世代での意見交換が活発に行われ、新規会員の年齢構成も幅広いものとなりました。

当団体としては、幅広い世代にメンバーとして関わっていただくことで、より良いこどもの遊びを中心とした地域コミュニティになっていくと考えているため、本事業を通して成果を得ることができました。

今後の課題といたしましては、団体自立に向けて、所管課との役割分担を見直すことが挙げられます。また、会員が継続的に当団体に参画できるよう、組織体制を整えることも課題のひとつです。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	2	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	7	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・団体も指摘していますが、本事業に参画する人を増やすことは課題だと思います。目的や参加のメリットなどをより明確に、かつオープンにすべきだと思います。

・川越にプレーパーク事業を認知させ、活動を安定化させるために、着実に前進しているように見受けられます。これまでの知見を十分に踏まえ、目的達成のために突き進んでいくことを期待しています。

・「プレーパーク」という考えがあまり浸透していない中で、積極的に事業展開をしていただいたと思います。おそらく今後は需要の掘り起こしが求められると思われます。そういった場合にこそ、所管課との協働が重要になってくるのではないのでしょうか。一方で、現在の問題点も認識しているようですので、今後も期待したいと思います。

・事業実績報告書の内容が分かりやすかったです。

・プレーパークについて、もう少し詳しく知りたいと思いましたが、報告会時の資料で理解することができました。

協働事業名称 川越にプレーパークをつくろう事業

【事業に関するコメント】

・母親同士の交流や父親も一緒にこどもの見守り・居場所づくりを行うのは、良い交流の場となります。

・協働事業として、担当課と団体はうまく機能しているように感じます。団体としては、体制面に課題があるように思います。そのため、団体はプレーリーダーや協力者を増やしていくことが必要です。

・子育ての難しい時代に、子供たちの遊びや学びを提供する場所や人材を育成していることは頼もしいです。もっと広がってほしいものです。

・実施している場所を宣伝してほしいです。

・協働事業の2年目として、着実に進化しており、計画通りにプレーパークを開催できています。次はプレーパーク開催の定着化を目指してほしいと考えます。提案の委託事業化も可能性があると考えます。

・市と団体がお互いのできることを、できないことを話し合いながらすり合わせていくことが協働のやりがいでもあり、大変な部分でもあります。

・最後には互いのファンになる関係が築けるようで、とても楽しみです。

・参加者が18歳から60歳代と、市民の関心が高いことがわかります。

・参加者が団体のメンバーになるなど、良い流れができています。

・市民の「またやりたい」を引き出す事業であり、今後の展望もしっかりとしています。

・行政には団体を丁寧に育ててほしいです。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	市民部 地域づくり推進課
記入団体名	仲町青陵会

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	仲町地域交流会活動事業		
協働事業の概要	<p>この事業は、仲町の町散策やバーベキューなどの交流事業を通じて、仲町の子ども達や次世代に自分の住む町の魅力を知ってもらうこと、新しいマンションの入居者向けには仲町の新たな環境になじめるようにすることにより、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に始めた事業です。</p> <p>今年度は、提案型協働事業の最終年度ということで、この2年間の活動を通して得た成果や新たな課題を、同じような悩みを抱えている地域の方々に知ってもらうために「コエトコナイト」の場で、報告会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月24日 地域交流事業(仲町町探検) ・12月11日 報告会(コエトコナイト):参加者11名(定員15名) 		
協働事業の決算額	85,036円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	42,000円
事業の実施期間	令和7年7月12日～令和8年1月17日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	5	4.5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	5	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	33 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

今年度は提案型協働事業の最終年度ということで、2年間の活動で見えた課題をしっかりと生かして3年目の事業に取り組むことができました。最初の2年ではマンションの掲示板の使用許可を得られず、新規マンション住民に対する交流会の周知方法の難しさという課題を成果としてとらえ、次年度につなげました。具体的にはマンション世帯に1件ずつチラシを配布し周知を行うことで地道な努力を重ね、その結果、マンション理事会の理事長の理解を得て、マンションの掲示板の使用許可を得たことは3年目の成果と言えます。さらに、「顔を合わせて話をするのが交流の原点」と理解したことで、協働事業終了後も仲町の地道な交流活動が今後、地域コミュニティ活性化やまつりの伝統継承につながっていくものと考えています。

【市民活動団体等】

地域づくり推進課の皆様からご協力をいただき、3年間計画通りに素晴らしい活動を実施できたことに感謝申し上げます。同時に、活動してきた内容を今後も続けていくことの大切さや意義を強く感じております。協働事業として実施したことで、活動の資料作成など、市の強力なサポートを受けることができ、活動内容を充実させることができました。また、今後も協働事業が発展できるよう、関わった者として市に協力できればと思います。ありがとうございました。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	4	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 B
B	4	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・3ヶ年全体を見通して計画を立案し、実施して当初の成果を得られたことは素晴らしいと評価いたします。特に、川越まつりを題材にした企画が良かったと思います。

・唯一残念なことは、このような取り組みを他の地域に波及できなかったことです。自治会ごとに違いがあるため、早々に解決できる問題ではありませんが、担当課として中心市街地のコミュニティ作りは避けられない課題であると考えます。川越まつりをうまく道具として活用し、的確な施策が見つかるとうれしいですね。

・「まちの魅力を知ってもらおう」というのはありきたりな言葉ではありますが、非常に難しいものであることも確かだと思えます。行政の後押しがあって成立する活動もあると思えますので、市役所との連携を常に意識していただきたいと考えます。

・今後も地域活動が活発になっていくことが課題であると思えます。

・マンション世帯の交流もよくなってきたようで良かったです。マンションに住んでいる人は世間との付き合いを持ちたくない人が多いようですので、様々な事業を通じて少しずつ交流を広げていくことは重要であると思えます。これからも地道な努力をお願いします。

協働事業名称 仲町地域交流会活動事業

【事業に関するコメント】

・川越のまちで祭りを通してコミュニケーションの場を広げることは、市政にとっても大切なことでもあります。これからも独自に続けてほしいです。他の自治会にも波及してほしいと思います。町内会はきっと盛り上がることでしょう。

・3年目で成果が見えてきました。地元での交流や祭りを通じたコミュニティづくりは、今後とも必要なため、活動の継続を希望します。川越祭りの山車の存続のためにも重要な取り組みであり、大事な一歩だと考えます。

・3年目で効果がきちんと出ています。他のまちにも共通する課題であるため、担当課はモデル事業として広めてほしいです。

・自治会への加入が増えていることは素晴らしいです。それも、顔の見える地道な活動があつてのことだと考えます。

・地域交流は仲町だけの課題ではありませんので、3年間のプロセスを精査し、横展開につなげてほしいです。

・マンション住民の自治会への加入は大変難しいことであり、大変だったと思います。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	学校教育部 教育指導課
記入団体名	テレジンを語りつぐ会in川越

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	生きる力と平和の大切さについて共に考える授業		
協働事業の概要	<p>野村路子さんの30年以上の取材の体験やホロコーストで犠牲になった同年齢の子どもたちの話などを聞き、命の大切さや平和の尊さについて考え、生きる力を育むための小学校・中学校訪問授業を行う。</p> <p>1 小中学生を対象に訪問授業を9月～3月に実施(講師:野村路子) 小学校(仙波小5年、今成小5年、今成小6年、寺尾小6年、福原小6年、上戸小6年) 中学校(東中3年、寺尾中2年、寺尾中3年、霞ヶ関西中1年) 合計約1,000名</p> <p>2 訪問授業校へ図書を贈呈</p> <p>3 中央図書館にて展示及び講演、ミニコンサートを実施 ・10月3日～9日、のべ約450人の来場者</p>		
協働事業の決算額	405,140円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	200,000円
事業の実施期間	令和7年5月～令和8年2月18日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかつた(2点) ・全くできなかつた(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

テレジンの会の皆さんの精力的な活動により、小・中学校で計10回の訪問授業を実施することができました。また、中央図書館での展示および講演も滞りなく実施することができ、児童生徒が命や平和について考える貴重な機会となったと考えています。

さらに、日々の指導を行う教員にとっても、命や平和、人権などについて改めて考える機会となり、指導力の向上にも資する取り組みであったと感じました。

訪問授業までに、テレジンの会の事務局が学校と丁寧に事前の打ち合わせを行っていたため、当日の訪問授業を円滑に進めることができました。次年度は、本年度の訪問授業の様子を校長会などで周知するなど、周知の方法をより工夫し、訪問を希望する学校を増やしていきたいと考えております。

また、中央図書館での展示および講演も、訪問授業との相乗効果があると考えており、次年度も協力して実施していきたいと考えています。

今後も、テレジンの会と協働し、児童生徒が命や平和について考える機会を設けることで、生きる力を育むことができるよう進めてまいりたいと考えています。

【市民活動団体等】

協働事業ということで、市立中央図書館の展示室と視聴覚ホールをお借りして、展示会と講演会を実施することができました。今回は、テレジン収容所の子もたちの絵だけではなく、ガザの子もたちの絵も展示することができたことには大きな意味があったと思います。

訪問授業については、各学校の先生方が忙しい中、熱心に対応してくださり、事前の話し合いにも十分な時間をとっていただきました。これも、教育指導課が授業実施までの詳しい手立てを各校や私たちに示してくださったお陰であると感謝しています。児童生徒も集中して授業に臨み、野村さんの話に耳を傾け、時間の許す範囲でグループ活動や質問、感想発表を行いました。

展示会の来場者は約450人でしたが、子どもたちの姿はあまり見られませんでした。忙しい子どもたちに訪問授業を実施する意義を実感しています。授業を受けた約1000人の児童生徒がこれを契機に命の尊さや平和について考え続け、今後の展示会等に来てさらなる考えを深めてくれることを期待しています。

来年度も小中学校への「訪問授業」を続けていきたいと思っています。忙しい業務の中で、本事業の目的達成のために支援してくださった教育指導課に深く感謝するとともに、今後ともご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	9	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 A
B	0	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・継続的な取り組みとなることを期待します。

・この事業のテーマは永遠のものであり、一度きりで終わるものではありません。地味ですが大切なテーマです。それを根気強く継続している皆様に敬意を感じます。今年度の知見をさらに磨き、より良い成果が得られることを祈念します。

【事業に関するコメント】

・この事業のような子供たちが平和と命について考える機会は、実はあまり多くないと感じています。川越において、どのようなことが求められているのかを踏まえて、引き続き活動を続けていただければと思います。

・野村路子さんが小中学生にテレジン収容所の話をされ、命、平和、人権の大切さを考える貴重な授業です。展示物も見て、目と耳でしっかりと受け止めてほしいと思います。

・今後も野村さんの講演授業の継続を希望します。

・世界中で戦争や紛争が起きている中で、このような小中学校への訪問授業を実施し、平和や命を語ることは重要であると思います。高校や大学での講演も視野に入れていただけると幸いです。

・さらに継続してほしいと思います。小中学校への訪問授業では、行政での準備等もありがたいことです。世界平和に対する考えや精神を育ててほしいと思います。子供たちが自分で考えるようになることが重要です。

・戦争の悲惨さを子どもたちに知らせることが大事であり、戦争はいけないということを今後も伝えてほしいと思います。

・展示会や講演会という点でのイベントだけでなく、訪問授業という取り組みが大きく面として広がったと思います。今後は川越の教育の一環として捉え、委託事業にするかどうかとも検討していただくと良いと思います。

・川越の人権学習としても素晴らしい素材ですので、大切に活かして行ってほしいと思います。

・学校への訪問は、学校教育時間内で行うことに大きな意義があります。担当課との調整も順調に進んでおり、来年も続けてほしいと思います。

・保護者や教員にとっても、素晴らしい機会であったと思います。

・2年目であるため、継続に向けての仕組みづくりを担当課に準備してほしいと思います。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	文化スポーツ部 文化芸術振興課
記入団体名	川越リージョナルウインドオーケストラ

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	川越リージョナルウインドオーケストラ 特別演奏会 Vol.2		
協働事業の概要	<p>・市民参加型の演奏会を通じ、参加者の学びと交流を深めながら川越の音楽文化向上と魅力あるまちづくりに貢献する。</p> <p>・様々な事情で既存の吹奏楽団への在籍が難しいながらも演奏機会を探し求めている潜在的なプレイヤーを発掘し、その機会を提供する。</p> <p>【令和7年度】 日時:令和8年2月15日(日)13:30開演 入場料:1,000円 演奏者:川越リージョナルウインドオーケストラ(一般公募・大学推薦枠あり) 【実績】令和6年度 来場者数:596名、演奏者数:64名</p>		
協働事業の決算額	2,278,910円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	200,000円
事業の実施期間	令和7年11月2日(練習開始)～令和8年2月28日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかつた(2点) ・全くできなかつた(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

2年目となった今回の事業では、築き上げた信頼関係により、昨年以上にスムーズに運営することができました。学生を含む音楽家にご参加いただいたことや、市内の音楽大学との連携による質の高い練習の成果を市民へ還元できたことは、市民の芸術活動のさらなる活性化に寄与したと感じております。今後もこのような活動が継続されることを期待しております。

【市民活動団体等】

設立から丸2年、協働事業としても2年目を迎え、ここまでたくさんの皆様に応援していただけて、感謝の気持ちでいっぱいです。公募も狭き門でしたが、本当に多くの応募をいただきました。これは協働事業であるからこそだと思っています。

楽団のコンセプトは「学びのある楽団」であり、音楽を学問として捉え、楽典(言葉でいうところの文法)を中心にリトミック的な要素や和声学的要素をしっかりと学んでいくことです。そのために、尚美学園大学の後藤教授を当団の音楽学術指導者として招くことができたことは、学べる魅力に繋がったと実感しています。

その延長線上で、地域移行の実証事業による部活動指導にも携わらせていただいております、それも皆様にご報告できる形になってきました。

また、今年度は団員から希望者20名弱にプラスして、東京や静岡、茨城といった日本各地からのメンバーが集まり、国際親善音楽交流協会に選ばれ、オーストリアのウィーンで開催された親善音楽交流ニューイヤーコンサートに出場し、オーストリア国歌と君が代の演奏から始まるまさに親善の演奏会に出演しました。観客はほぼ100%ウィーンのお客様で、国歌の演奏に際しては1,000人近いお客様全員が起立して国歌を聴き、君が代まで起立したままで互いの国へのリスペクトが表現された、鳥肌が立つような素晴らしい体験ができました。協働事業を通じて育まれたお互いを思いやる気持ちと川越の誇りは、しっかりと日本を代表してウィーンに演奏でお届けすることができました。

今後も川越市と協働で、人の心と心を繋ぐような音楽展開をしていきたいと思っております。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	9	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 A
B	0	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

- ・地域と連携した活動は高く評価いたします。より広範囲な広報活動を期待いたします。
- ・協働事業を通じて、双方の強固な信頼関係が築かれ、それをベースに協力体制が強化され、当初の目的以上の成果が得られたことは喜ばしいことです。来年度はさらにレベルアップを図り、より良い成果が得られることを期待いたします。
- ・団体側の積極的な活動に基づく事業だと感じました。ここまでの規模に育て上げることができたのは、市内にそれだけの潜在的需要があったことと、それを「発見」したことにあると思います。このような着眼点と積極的な活動、さらにそれを行政が支援するという枠組みは大変素晴らしいものだと感じました。

協働事業名称 川越リージョナルウインドオーケストラ 特別演奏会

【事業に関するコメント】

- ・設立2年目でこれだけの協働事業ができたのは、素晴らしいことです。オーケストラを通して、たくさんの出会いがあり、演奏会ではさまざまな企画が用意されていて、音楽の楽しさが伝わってまいります。
- ・川越のオーケストラとして、今後の演奏活動に大いに期待できます。団員の皆様と共に、素敵な演奏を発信してください。
- ・音楽文化の普及という意味で、大きな一歩を踏み出していると思います。
- ・中学や高校で吹奏楽を経験していたり、音楽大学に進学したりしても、卒業後は他の分野に進んでしまい、音楽を継続できていない人たちがたくさんいます。その受け皿になってくれると嬉しく思います。
- ・川越の芸術の芽を開かせ、花を咲かせてください。
- ・音大生の可能性が広がりました。地域の中学や高校との連携を楽しみにしています。
- ・1回目の練習会に参加させていただきましたが、初めの頃は音が合わず、合わせるが大変だったと思います。しかし、段々とよくなってきました。最後の方は素晴らしかったです。
- ・この事業の成功と拡大は、大きな成果です。将来的には川越の固有文化として育てていけると思いますので、継続をお願いいたします。
- ・市民の潜在的な音楽的能力を引き出すプラットフォームとして成長しているのが素晴らしいです。
- ・部活動移行のテストケースも、団体の活動が評価された結果であり、着実に実績を積んでいます。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	産業観光部 観光課・環境部 資源循環推進課
記入団体名	「小江戸川越ほの香」の川越キレイ物語実行委員会

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
--

協働事業名称	「小江戸川越ほの香」の川越キレイ物語		
協働事業の概要	<p>【事業目的】 川越が生んだ漫画家・花村えい子の推しガール総選挙にて川越市民より選ばれた「小江戸ほの香」のバックを作成し、観光客が食べ歩きで出たごみを入れて、観光ごみのポイ捨てを減らす取り組み。</p> <p>【事業内容】 ゴミを持ち帰る行動を促したいが、着物や浴衣、キレイな洋服を着て、ビニール袋に、紙コップ、空き缶、食べ物の容器等を入れて持ち歩くのは、イメージが悪い。臭いや水分を気にせず、食べた後のゴミを可愛く清潔に持ち帰ることができる、持っているだけで気分が上がる可愛い「ゴミバッグ」を生産し、2月開催の芋パークイベントで配布する。</p>		
協働事業の決算額	437,080円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	200,000円
事業の実施期間	令和8年2月14日・15日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	⑦④

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	2.5	2	2.25
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	3	2	2.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	3	5	4
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	3	2	2.5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	2.5	2	2.25
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	3	5	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	22 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

(観光課)

ごみバッグの作成にあたり、協賛を得ながら進めるということでしたが、協賛募集の観点では本市として協力することが難しく、進捗が難航したと感じています。

現在、観光客へのごみ袋やエコバックの配布が市内の有志事業者または団体等により実施されており、いずれも環境美化に一定の成果が出ていますが、消耗(廃棄等)することを前提として制作されたものです。

花村えい子氏による魅力的なキャラクターを生かす手段としてごみバッグを配布することは、話題性があり啓発としては良い取り組みとなったと考えますが、実際にバッグにごみを入れて使用するのは勿体ないと感じました。

(資源循環推進課)

事業内容は明確でしたが、ごみバックの作成に時間を要したことが想定外でした。ごみバック作成にあたって当課から協力できる点はなかったため、完成品を周知するための連絡待ちとなってしまいました。

最終的にはCOEDO芋パークでの配布となり、本事業により観光客ごみを持ち帰る意識が醸成されることを願っています。

【市民活動団体等】

事業内容自体はとてもシンプルで、大変好評でしたが、協力していただける点が難しく、観光課や資源循環推進課の方々との連携が取りにくかったです。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	0	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価
B	4	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	C
C	5	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・ごみバックはビニール袋でもよかったのではないかと思います。

・キャラクターを浸透させるのか、ごみ問題を解決させるのか、見直したほうが良いと思います。

・紙袋は障がい者支援施設の販売品として、サンプル作りにトライしてもよかったのかもしれませんが。障がい者の賃金アップに寄与するキャラクターグッズづくりになると思います。

・SDGsを推進する他団体とのコラボも検討してみてもいかがでしょうか。若手社会人会議の若手グループにテーマとして考えてもらうことを提案いたします。

・もう少し安価な価格で、ごみが外に見えない袋でもよいのではないかと思います。

協働事業名称 「小江戸川越ほの香」の川越キレイ物語

【事業に関するコメント】

- ・行政と団体の評価が低いことが気になります。もっとコミュニケーションをとって、良い方向を見つけてほしいと思います。
- ・できるだけ協賛企業を増やし、せめて10,000枚は作成してほしいと思います。また、駅やお店で販売してほしいです。
- ・ごみバックの提案には賛成できますが、結果的に何枚作成できたのかが気になります。
- ・去年の総選挙で選ばれた「川越ほの香」の存続が危ういと感じています。
- ・ポイ捨てせずにごみを持ち帰ってもらうビニール袋の配布は、十分に啓発につながると思います。そこにかわいいごみバックを添えれば、持ち帰る方が多くなるのではないかと思います。
- ・ポイ捨て防止には、効果的な配布場所も重要だと考えます。
- ・明らかなミスマッチがあったように感じます。また、制度上の課題も指摘されているように読み取れます。事業の内容は良いものであると思いますので、ミスマッチについては団体と行政の密な情報交換を通じて、制度の問題については場合によっては制度を変えていく取り組みによって解消していくべきだと考えます。したがって、まずは団体と担当課が情報交換を行うことが求められると思います。
- ・事業目的や事業内容については素晴らしいものだと思いますが、いざ実施段階になると今のスタッフでは問題が多すぎたのではないかと感じます(実現のためのノウハウや構想力、人脈など、すべてにおいて能力不足だったのではないかと思います)。
- ・今年度はごみバックができたので、次年度にはキャンペーン的な仕掛けを一番街周辺で展開するのも良いのではないかと思います。
- ・ごみバックの配布が目的とされていますが、実際に完成したバックはごみを入れるようには見えない出来栄です。本来の目的で利用されない可能性が懸念されます。
- ・ごみバックの配布とその成果はこれからですが、川越として認知度を上げたい「ほの香ちゃん」とごみ問題の解決手段との結び付けが難しいように感じます。2月に実施する事業について、十分に検討を行い、その結果を次に生かしてほしいと思います。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	秘書室
記入団体名	川越若手社会人会議事務局

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
--

協働事業名称	川越若手社会人会議		
協働事業の概要	(・6月11日 川越若手社会人会議第一部) (氷川神社にて今後の活動テーマの決定等グループワーク、巫女神職体験) ・7月17日 川越市立川越高等学校総合的な探求学習 川越高等学校の総合的な探求学習で川越の観光に関してディスカッション ・8月20日、21日 川越若手社会人会議 中間報告会 事務局と各チームでのグループワークの進捗確認 ・10月23日 川越若手社会人会議 第二部 成果共有会 養寿院にて取組み内容発表(川越市長報告・提案する優秀チームの決定) 地元企業龜屋社長の講義、座禅・焼香作法実習等の体験 ・11月13日 川越若手社会人会議 川越市長報告会 川越市長への報告・提案成果発表会、市担当部署からのフィードバック		
協働事業の決算額	109,180円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	54,000円
事業の実施期間	令和7年7月3日～令和8年1月20日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	⑦

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

地域資源を生かしたまちの魅力を向上させるための様々な提案があり、市長へのプレゼンテーションでは市長や担当部課長から積極的な質問や意見交換がありました。

この事業を通じて、若い市内在住者や市内勤務者の方々が企業の枠を超えてつながりを築けたこと、また川越のまちについて考え、関わりのあるまちに愛着を持つ機会を得られたことは、市民によるまちづくりを進める人材育成のきっかけになるのではないかと感じております。

民間企業間が連携したこのような事業を通じて、多くの人や企業から選ばれる自治体となり、「川越に住む」、「川越で働く」ことにつながることを期待しています。

【市民活動団体等】

グループワークをはじめ、川越若手社会人会議の様々なカリキュラムを通じて、川越の価値を改めて学び、街の未来を考える多くの提案を形にさせていただいたと感じております。グループワークの段階からテーマに応じて川越市各担当所属様と協働させていただき、最終的には森田市長をはじめ、各部長・課長の皆さまと様々な意見交換をさせていただくこともできました。

今後も参加者の皆さまがこの事業を通じて築いた関係を大切にしながら、川越の未来を担う存在として、さらなる成長をすることを期待しております。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	5	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	総合評価 A
B	2	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	2	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・企業横断的な取り組みは高く評価できます。参加者も熱心に取り組んでいたように思います。事業の成果をどのように可視化するかは、今後の課題のように感じます。

・市長報告会を参観させていただきましたが、報告された3件とも素晴らしいものでした。可能であれば、今回の提案で終わるのではなく、今回の成果をさらに掘り下げる(現実化させる)事業が新たな協働事業として提案されるとよいのではないかと感じました(せっかく市役所上層部が参加しているので)。

・事業の目的や内容は、川越に資するものであると考えます。多くの企業が参加したこと自体良かったと思います。おそらく重要なのは、今後ここで得られた成果をどのように川越に還元していくかです。もちろん、川越そのものに貢献してもらうことも大切ですが、ここで得られた経験を各参加者が生かし、自らのステップアップにつなげてもらうことも、別の意味で川越に貢献するものと感じました。

・川越の地域活性化のため、川越のまちを知り住む人、働く人がこれまでの成果を基に、これからの未来に向けてどのように協働事業に取り組んでいくか、若い方に期待しております。

・グループ発表も成果があったと思います。

協働事業名称 川越若手社会人会議

【事業に関するコメント】

- ・昨年よりも会社数や人数が増えて、よかったと思います。
- ・この会議がどのように発生したのか、知りたいです。
- ・市長へのプレゼンを拝見し、3グループとももっと深く探求してほしいと思います。それぞれに時間がかかりますし、プレゼンをして終わりにしてほしいです。
- ・川越の活性化だけでなく、それぞれの社員の仕事やキャリアの積み上げになればよいと思います。
- ・川越のまちをよく知り、盛り上げていく若者が増えることは、市民としても頼りがいのあることだと思います。
- ・市立川越高校との交流やグリーンツーリズムなど、一步踏み込んだ事業となっています。
- ・参加者が多く、事業内容(体験)やグループ活動を通して若手の啓発に効果があったと思いますが、協働事業として考えると「川越」に何らかの成果が見えれば、もっと良い取り組みになると考えます。ぜひ、その後のグループ自主活動があれば、調べて次に生かしてもらいたいです。
- ・青年会議所の分科会との違いがよくわかりません。
- ・愛着を持ってもらうことにとどまっているのは残念です。目指す目標がそこなのばかりしています。
- ・高校生との交流は素晴らしいことです。企業の社会貢献として行ってほしいです。
- ・自分たちが楽しむということから、地域との繋がりに広げてほしいです。
- ・協働事業補助金は税金のため、社会課題解決につながるものでないと継続事業としては難しいと思います。

協働事業評価シート(第三者用)

部課名	産業観光部 農政課
記入団体名	小江戸南古谷農園

令和7年度

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
--

協働事業名称	「～遊ぶ、真似ぶ、学ぶ～食育を田んぼに入って肌で体験する」事業		
協働事業の概要	<p>お互いが頼れる関係性こそが子供たち、地域を守り100年後の川越の持続可能な未来を創る。</p> <p>農業者と担い手(消費者、将来の農家さん)との関係を深め、互いに支えあいながら川越市の100年につながる事業で、南古谷地域貢献にもつながります。</p> <p>遊ぶ、真似ぶ、学ぶ(一貫農業体験)を通し作る人、食べる人がお互いを理解し支え合う関係性を築くことをテーマにみんなで物語りを作りました。</p>		
協働事業の決算額	652,663円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	200,000円
事業の実施期間	令和7年7月～令和8年2月13日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	④

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	31 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

南古谷地域の農業の魅力を、市民にPRするとともに、イベントを通して若い世代に食の大切さを伝え、農業への関心を促すことで、将来の担い手の育成につながる事業ができていると感じています。

当課としても、引き続きPRの実施やイベントの情報提供などを通して協力していきたいと考えています。

【市民活動団体等】

お子さんや親御さんなど多くの方々に、一貫農業を通じて、農と食を五感で感じていただけたと実感しています。ありがとうございました。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	5	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	4	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・子供たちが体験を通して農業を学ぶ機会は貴重であり、高く評価します。ただし、事故には十分に注意していただきたいと思います。

・一貫農業体験を通じて、さらなるコミュニティ活性化の一助となる活動の発展を期待します。

・生産者と消費者の相互理解という着眼点に基づくユニークな事業だと思いますが、報告を聞く限りでは一定の成功を収めたと感じます。重要なのは、これが継続するかどうかだと思います。こうした事業を存続させるための工夫を凝らしていく必要があると考えます。農政課は、この視点に立って協働していただければと思います。

・子供たちが田んぼに入り、肌で体験できる楽しい機会です。「どろっちゃ」遊びを通じて、野菜やお米は作ってくれる人がいるからこそ食べられるという「ありがとう」の気持ちを学べれば、良い思い出となるでしょう。日本の未来において農業の後継者は重要な課題です。

・農業ふれあいフェスタin南古谷には多くの団体や商店が出店し、大勢の人たちで賑わっていました。また、団体が地域や近隣の地域とのつながりを持っていることが分かりました。ただ、主目的が少しずれているように感じました。

・お餅つき体験には多くの子供たちが参加していましたが、参加費が高いのではないかと思います。

協働事業名称 「～遊ぶ、真似ぶ、学ぶ～食育を田んぼに入って肌で体験する」事業

【事業に関するコメント】

- ・来年度は田植えや稲刈り等も行おうと思いますが、自分たちが作ったお米を食べるイベント等にも期待しています。
- ・この事業は、子供たちへの農業に対する生きた教育だと感心しました。
- ・田植えや泥んこ遊び、しめ縄づくり、お餅の試食など、楽しみながら子供たちが参加しているのが良いと思います。
- ・農業振興につながってほしいです。
- ・1月に実施されたふれあいフェスタは出品者も多く、いろいろと工夫されており、良かったです。また、お客さんも親子連れを中心にたくさん来ており、盛況であったと思います。このフェスタの盛況と今年の7月から11月の稲刈りまでのイベントがうまくつながっているのが気になります(本日の報告で少し理解できました)。今後も継続をお願いします。
- ・20万円は団体の持ち出しですが、参加費はもらっているのでしょうか。
→実績報告にて、ふれあいフェスタの餅つき等については参加費を取っていることを確認。
- ・忙しい中、農園の方々が応募してくれたことに感動しました。
- ・作る人と食べる人がイベントを通じて互いの理解を深めることは素晴らしいです。
- ・タネのことや大学とのコラボレーションなども興味深いです。
- ・農業者の発信や生産者への理解、値段の設定など、深くためになる発言を聞くことができ、貴重な時間でした。